

## 平成 25 年度「学生イニシアティブ事業」企画提案書

提案グループ名	動物介在教育研究会
---------	-----------

### ■提案内容

<b>1. タイトル</b> ・提案する事業内容のタイトルを 20 字程度で記入してください。 <b>動物介在教育の生命教育応用と地域展開</b>
<b>2. 背景</b> ・これまでの活動経緯や、本事業の実施に至った経緯などを記入してください。 <p>本学で考える動物介在教育は、子どもへの教育において動物を介在させることで「全ての生き物は自分達と同じように生きている」という命への思いやりを涵養し、子ども達的情绪形成過程（特に幼児から小学校低学年）に様々な刺激を与え、興味関心を持たせ、視野の拡大が望めるものと考えています。このように考えた背景には、子ども達の自立心・道徳心の欠如がささやかれる昨今の教育事情があります。地域でもこの背景をふまえて、動物介在教育を教育活動の一環として取り入れるところが年々増えており、地域からの要請に応え、より高いレベルで「命の教育」を行うことが重要視されています。また、地域へ根ざした活動を行う事により、世代間交流ができ、より広い視野や新たな物事の見方を発見できる機会が増え、地域との結びつきが強化され、地域の活性化、教育意識の向上が期待できます。</p> <p>活動内容として、児童たちを主な対象とし、動物のふれあいや生態・行動等の生物知識の解説を行っていく「命の教育」の活動プログラム開発を始め、より新進的かつ機能的活動を行う為の動物飼育・繁殖を行い、また、前年度より引き続き、研究としてデータ収集や効果の評価を行い、動物介在教育・環境教育共に活動した内容・結果・データをまとめ、ヒトと動物の関係学会や比較心身症研究学会等での学会発表・論文発表を行なって行く事を計画しています。</p> <p>活動目標として、対象者に活動を通して、より広い「生命」を実感してもらい、生き物への思いやりを育むきっかけ作りになることがあります。そして、学生が主体的に活動することで、自らがより動物に関心を持ち、対象者との世代を超えた交流活動を通して、専門家としての自覚を促し、自立心を持ってもらうことも目標としています。</p>
<b>3. 事業の概要（未定の場合は、現時点での想定でご記入ください）</b>

<p>(事業概要：実施する内容を簡潔にご記入ください)</p> <p>年間を通して以下のような活動を計画しています。</p> <p>①小学校での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問し、動物のふれあいや生態・行動等の動物の知識に関する教育</li> <li>・動物を貸し出しての生活科の授業及び動物飼育体験の補助やそれについての知識の教育</li> <li>・動物園への遠足に引率して動物解説等の遠足補助</li> <li>・大学への遠足を受け入れ、大学内において学生の勉強・研究している内容の説明、動物のふれあいや生態・行動等の動物に関する知識の教育</li> <li>・小学校で飼育されている学校飼育動物を管理する飼育委員会への助言、知識の教育</li> </ul> <p>②その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育所やデイサービスセンターへの訪問や、大学を会場としたカルチャースクールの受け入れや北都留富士北麓教育事務所と提携して行われる、大学を会場とした「親子科学教室」を開催しての動物のふれあいや生態・行動等の動物に関する知識の教育・解説</li> <li>・山梨県立科学博物館で行われる「科学の祭典」に参加し、身近な生き物の興味関心を高める</li> <li>・9月23日の動物愛護デーに行われる羽村動物園でのイベントに参加、本大学の他団体と提携し行う動物を介した知識教育、交流</li> </ul> <p>年々対象者の世代の幅や活動の幅が広がり学生の知識の向上が求められているため、活動を事前に学生や訪問先の関係者に行う事で、より伝わりやすい活動プログラムを実施できるように計画しています。</p> <p>学生も対象者も楽しみながら、共に「いのち」を感じ、共に「いのち」を考えるという活動プログラムを行いたいと考えています。</p>
<p>(実施時期)</p> <p>年間</p>
<p>(実施場所)</p> <p>山梨県上野原市の小学校・幼稚園 東京都足立区の小学校</p>
<p>(提案グループ以外の連携・協働団体：スポンサー等を含む)</p> <p>足立区教育委員会</p>
<p>(本事業の対象者及びその想定人数)</p> <p>上野原市の小学生 50名前後 足立区の小学生 100名前後</p>